



東小学校便り

HARUKA

# 木 洩 れ 陽

令和6年10月18日 No.6

秋晴れの下での運動も終わりましたが、今後も遠足、修学旅行、鑑賞教室、授業参観（PTAバザー）、宿泊学習と各種行事が目白押しに続きます。一つ一つの行事を大切に行っていきたいと思います。

さて、10月の詩は鶴見正夫さんの「スポーツ」です。実は、この詩は様々なスポーツシーンで構成されています。その中から「走る」と「とぶ」の2つを取り上げて、暗唱に挑戦しています。運動会シーズンですので、たくさん子ども達が暗唱に挑戦しないかなと願っているところです。

## スポーツ 鶴見正夫

〈走る〉

前へ！ 前へ！  
ただまっしぐらに前へ！  
きみの前にはゴールがまつ、  
きみのうしろにはスピードが残る。  
単調な手足のくり返しがきざむ  
栄光へのリズム。  
きみはきみとたたかう  
この長い道程……

〈とぶ〉

大地をけて  
どれだけ空中にいられるか  
とべ！  
より高くへ、より遠くへ。  
からだじゅうをばねにして  
きみはいま地球の引力にいどむ。  
そのひととき、自由のとき、  
いっしゅんの美しい花がひらく。

～10月の学校生活シーンより～

【ゴミを拾った二人】



【児童代表の言葉】

【はまゆう学級の様子】



【学校へのエール】

【音楽発表会の練習】



【青団ダブル優勝】

